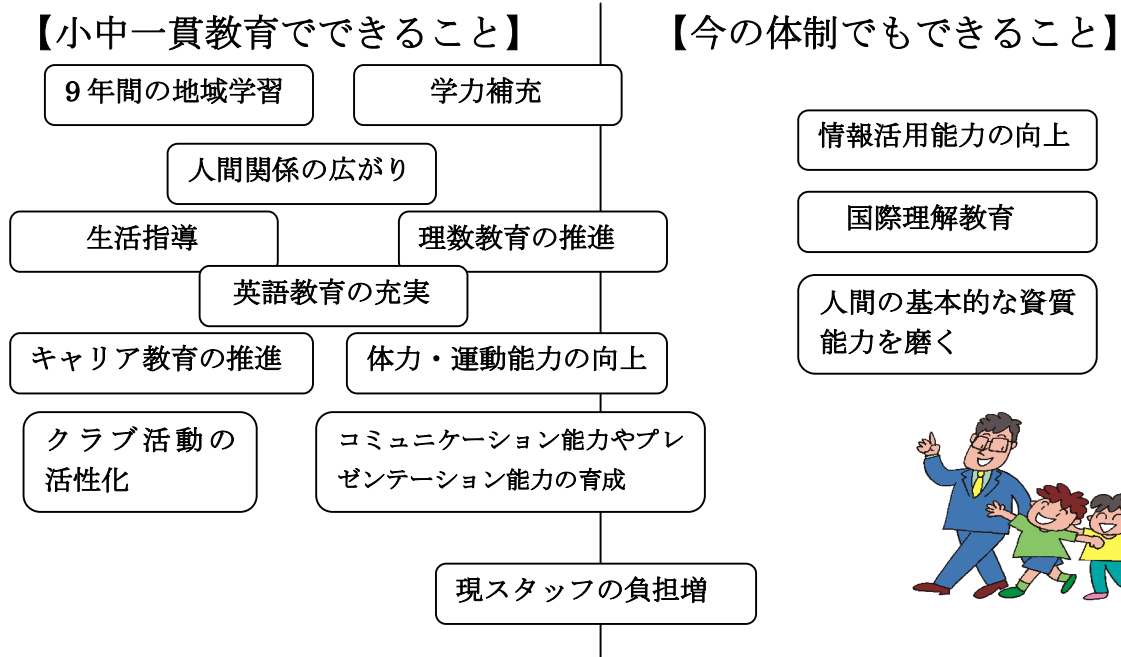


7月25日の第6回懇話会は、大原学院視察について感想を述べ合った後、小柳教授が「【生駒北小中一貫教育のイメージ】」の重点項目を、小中一貫校になってできることと今までと同じ体制でもできることに分類しましょう」と呼びかけられました。まとめると次のようになります。



地域の「伝統」と「先進」に基づく魅力ある学校



「人間の基本的な資質能力」ですが、これは関心や意欲を持つこと、深く考えること、正しい判断をすること、自分の思いを表現することなど。それらは小中一貫教育であるかないかに関わらず、今の子どもたちに学校教育で最もつけたい事柄なので、「今の体制でもできること」に位置します。

「小中一貫教育でできること」と「今の体制でもできること」の双方に位置するのが、「学力補充」「理数教育の推進」「体力・運動能力の向上」「コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の育成」です。この4つは、今の体制でもできないことはないが、小中一貫教育になればより教育効果が上がるのではないかと、というのが、懇話会参加者の考えでした。

さらには、[現スタッフの負担]という観点がイメージとは別に出されました。

懇話会の終わりには、打田・高船で7月8日に行われた保護者と市教委の話し合いの様子について代表者が報告しました。



生駒市ホームページには議事録要旨を掲載しております。小中一貫教育懇話会のページは次のとおりです。 <http://www.city.ikoma.lg.jp/kashitsu/15200/03/01.html>

次の懇話会は9/18(水)生駒北小学校多目的室にて19:00~21:00の予定で開催します。(傍聴可能)